

# みやぎハイスクール通信

県立高校の旬な情報を毎月お届けします。各高校の魅力的な取組の情報が満載です。中学生の皆さんの進路選択にぜひご活用ください。

マナーアップ通信、部活動やボランティア活動などの各学校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなどをお伝えします。

## 10月号の目次

- |            |             |            |            |
|------------|-------------|------------|------------|
| 1 マナーアップ通信 | (3) 仙台二華高校  | 3 学校紹介     | 4 コラム      |
| (1) 工業高校   | (4) 岩出山高校   | (1) 仙台向山高校 | (1) 白石工業高校 |
| (2) 富谷高校   | (5) 加美農業高校  | (2) 仙台三桜高校 | (2) 村田高校   |
|            | (6) 鹿島台商業高校 | (3) 古川高校   | (3) 志津川高校  |
| 2 特色ある取組   | (7) 石巻好文館高校 | (4) 迫桜高校   |            |
| (1) 角田高校   | (8) 田尻さくら高校 | (5) 第二工業高校 |            |
| (2) 名取高校   |             |            |            |

## 1 マナーアップ通信

### (1) 工業高校 <みやぎ高校生秋のマナーアップキャンペーン>

宮城県工業高校の生徒会執行部では、10月2日(水)と10月3日(木)の2日間行われた、みやぎ高校生秋のマナーアップ・キャンペーンに参加しました。このキャンペーンでは、公共交通機関を利用する際のマナーアップを目的とし、朝の通学通勤で仙台駅を利用する方々に向けて、ティッシュ配りを通してマナーアップの呼び掛けを行いました。また、このキャンペーンは春にも行われており、春に引き続き参加しました。ティッシュ配りを通しての呼び掛けだけでなく、高校生らしく明るく元気よくマナーアップキャンペーンに参加している姿を、通勤通学途中の方々に見ていただくことによって、マナーアップの向上を考えるきっかけを作ることができたと思います。



<学校のホームページはこちらです>

<https://miyagi-th.myswan.ed.jp/>

## (2) 富谷高校 <TMYアルカス運動>

「アルカス」とは、宮城県の小学生・中学生・高校生によって構成されたボランティアグループのことです。この名称は、大学生によるボランティアグループ「ポラリス宮城」のように、高校生も積極的に活動・活躍してほしいという願いを込め、北極星(ポラリス)の周りを回っている星座「アルカス」から命名されました。富谷高校では「TMYアルカス」として、自主的健全育成活動や非行防止活動に参画することを目的とし、様々な活動を行っています。

活動内容の一部として、校内では朝の挨拶運動、校外では先日もイオンモール富谷店で黒川警察署・地区防犯協会の方々と一緒に、非行防止・防犯・交通安全などについてチラシを配布しながら、呼び掛け活動を行いました。

地域の方々と交流を深めながら、富谷市民としての意識も高まりました。私たちはこの活動を通して、自らの意識を高めるとともに、高校生であるからこそ感じる・考えられることを生かし、より良い地域環境づくりを目指しています。

<学校のホームページはこちらです> <https://tomiya-h.myswan.ed.jp/>



## 2 特色ある取組

### (1) 角田高校

#### <角田小学校・角田中学校・角田高校合同で夏祭り参加>

角田市の中心部にある角田小学校・角田中学校・角田高校の児童会・生徒会役員は、一昨年より8月に開催される「かくだふるさと夏まつり」に、角田地区子ども会育成会の後援を受けて合同で出店しています。昨年より「角田っ子」のロゴ入りの揃いのTシャツを着て参加していますが、今年は角田高校前生徒会長が「角田っ子」缶バッジを身に付けて活動しました。当日は雨も心配されましたが、冷たいジュースや今はやりのタピオカドリンクも思いのほか売れました。他にもポップコーンや射的は盛況で、ビンゴ大会は2回とも大いに盛り上がりました。準備のために4月から3回ほど角田高校に集まって企画し、手作りの射的的や看板を作ってきただけに、子どもたちは達成感もあり楽しかったようです。全面的に協力してくれる保護者もあり、多くの人に支えられながらやり遂げることができました。最後に反省会も行なって今年の活動は締めくくりでしたが、毎月2回行われる朝の挨拶運動は児童会・生徒会役員の世代交代を行いながら年度末まで継続していきます。来年度の「かくだふるさと夏まつり」は形態を変えて実施されるということですが、可能な限り合同で参加していきたいと思っています。



<学校のホームページはこちらです> <https://kakuko.myswan.ed.jp/>

## (2) 名取高校 <本校の特色を生かした文化祭>

今年の文化祭（名高祭）は、8月30日（金）に校内発表、31日（土）に一般公開の日程で開催されました。テーマは「名高祭2019～令和に刻む第一歩～」です。今年は元号が変わり、さらに昨年度から新校舎になり、新たな時代に向かって歩いていく生徒たちの想いや情熱を感じられる名高祭でした。

名高祭では学芸部のステージ発表・展示や、クラス企画によるダンス発表・模擬店が催されました。中でも目玉は、家政科3年生による「華コレ」です。被服コース選択の生徒を中心に、34名が個性溢れるドレス等を製作し披露しました。生徒は夏休み中も就職活動や進学準備の合間を縫って制作してきました。スポットライトの中、ランウェイからステージまで、今年も多くの観客を魅了しました。来年度も皆さまのご来場をお待ちしております。



<学校のホームページはこちらです> <https://natori-h.myswan.ed.jp/>

## (3) 仙台二華高校 <“水問題”に挑む>

仙台二華高校には特色ある取組がたくさんありますが、代表的な取組の一つが「グローバルスタディ 課題研究」（学校設定教科）です。世界の水問題をテーマに生徒が自ら課題を見つけ、2年間（科目の選択によっては3年間）にわたり探究活動を行います。この活動の一環として高校1年生対象の北上川フィールドワーク（以下「北上川FW」）を9月26日（木）、27日（金）の2日間で実施しました。7つのHR（余談ですが、仙台二華高校ではクラスを“HR（ホームルーム）”と呼びますが）、岩手県と宮城県にまたがる北上川について（1）宮城県内の治水の歴史を学ぶコース（2）治水と発電、水環境について学ぶコース（3）浄水について学ぶコースの3コースに分かれ、（1）は石巻の和渕、北上川河川歴史公園、（2）は一関の北上川学習交流館、盛岡の四十四田ダム、（3）は盛岡の新庄浄水場、米内浄水場をそれぞれ訪れ、研修を行いました。2日目は八幡平中腹にある旧松尾鉱山跡地で育樹活動を行いました。この松尾鉱山はかつて東洋一の硫黄産出量を誇った鉱山でしたが、硫化鉄鉱と水（雨水や地下水）、酸素が反応して発生する強酸性水が、閉山となった今でも流出していて大きな問題となっています。そのため、現在大規模な中和施設が設置されていますが、その維持費は年間5億円にも及んでいます。鉱山にはまだまだ大量の硫化鉄鉱が眠っていますが、それと反応する水が地下に流れ込まないよう山の保水力を高めるための緑化活動がこの植樹・育樹です。今年で9年目を迎える北上川FWですが、当初から継続している活動で、かつての生徒たちが植えた樹木も大きく育っています。当日は天候に恵まれ、近くに岩手山を望みながら、生徒は黙々と作業を行っていました。慣れない作業ではありましたが全員が充実した表情で終えることができ、ホテルでの昼食（美味しいカレー）を達成感溢れる笑顔で頬張っていたのが印象的でした。環境保全の規模としたら小さいかもしれませんが、継続していくことでいつか環境が蘇ることを期待し、これからもこの活動を続けていきたいと思っています。



<学校のホームページはこちらです> <https://nika.myswan.ed.jp/>

## (4) 岩出山高校 <今年も政宗公まつりへ参加しました！>

9月8日(日)に岩出山にて政宗公まつりが開催され、本校からも全校生徒が参加しました。若武者隊や給水、着付け係、ボランティアガイドといった様々な役割を果たし、まつりの成功に貢献しました。前日7日(土)の本祭前の宵まつりでは、ダンス部や吹奏楽部がパフォーマンスを披露しました。地域の方々との協働や様々な感謝の声に、多くの生徒が自分なりのやりがいを感じていました。

また、写真の「牛鬼」は10年ほど前に愛媛県宇和島市から伝わったもので、政宗公まつりの行列におけるメインともいえる存在です。今年のみつりには宇和島市の牛鬼保存会から2体の「牛鬼」が登場し、保存会の方々や地域の消防団の方とともに岩出山高生が担ぎ、練り歩きました。本家本元の「牛鬼」に、まつりは例年以上の盛り上がりを見せていました。

岩出山高等学校は、今後もこのような地域行事への参加を通して、本校の魅力の発信や地域への貢献に一層取り組んでいきたいと考えております。



<学校のホームページはこちらです> <https://iwadeyama-h.myswan.ed.jp/>

## (5) 加美農業高校 <韓国水原農生命科学高等学校との交流>

本校は韓国の水原農生命科学高等学校と1991年より姉妹校になっており、隔年で相互訪問を行っています。本年度は本校10名(生徒7名、引率教員3名)の訪問団が、水原農生命科学高等学校を9月2日(月)~9月6日(金)の4泊5日の日程で訪問しました。

今回の交流テーマは「農業関連部活動と課題研究活動」で、2日目のFFJ・FFK発表会では、このテーマで両校が学校紹介とともに、それぞれの学習内容や研究の取組を発表しました。

今回の訪問では、水原農生命科学高等学校での授業に本校生徒が参加したり、世界遺産「華城行宮」の見学や韓服を着ての茶道体験等の文化交流も行いました。食品の授業では、韓国の伝統菓子「松餅」を作ったり、園芸の授業ではトマトの剪定も行いました。また、ペットのトリミングの授業もあるなど、本校とは違った授業内容に生徒たちは驚いたようでした。

2日目・3日目は、生徒たちは韓国の家庭にホームステイしましたが、実際の家庭に滞在することで、多くの発見とともに、真の交流を深めたと思います。

本校は「農業経営者育成教育を通して自立した有為な人材を育成する」を学校の経営目標としています。水原農生命科学高等学校との交流は、姉妹校として日本と韓国の相互理解を図るというだけでなく、国際的視野を持った生徒の育成にもつながっています。



<学校のホームページはこちらです> <https://kamino-h.myswan.ed.jp/>

## (6) 鹿島台商業高校 <販売実習のお知らせ>

鹿島台商業高等学校では、この秋、以下のイベントで販売実習を行います。

- 1 11月 9日(土) イオン古川店秋の収穫祭
- 2 11月10日(日) から12日(火) 鹿島台互市
- 3 11月10日(日) 産業教育フェア 勾当台公園

本校は商業高校です。商業高校で簿記や情報処理について学ぶことはよく知られていますが、商品の流通についても学習します。その授業の一環として様々なイベントで販売実習を行っています。販売する商品は、本校生徒が地元の企業とコラボして開発した商品です。これ以外のイベントにも参加しているかもしれません。見かけたら声をかけてください。お客様のたくさんのご来店をお待ちしております。



<学校のホームページはこちらです> <https://kasimadai-ch.myswan.ed.jp/>

## (7) 石巻好文館高校 <総合的な学習(探究)の時間～甲斐あるひとといわれたいむ～>

石巻好文館高等学校では、その校是『甲斐ある人と言われなむ』(真心をもって 世のため人のために 尽くす人になるように 日々努力する)を実現するために、総合的な学習(探究)の時間を、「甲斐あるひとといわれたいむ」(甲斐たいむ)と銘打ち、様々な取組を行っています。

先頃、1年次では自己理解活動の一環として「社会人講話」が実施されました。本校卒業生で東京の大学で研究職に従事している方、地元石巻で企業を営み地域密着型の経営をしている方など、9名の講師をお招きしました。講話では主に、「社会に出るにあたり、高校生が身に付けておくべきこと」「社会人として苦労していること」「働くことの意義・やりがい」など、教科書では学べない貴重な話を聞くことができました。

今後「甲斐たいむ」では、地域のニーズを発見し主体的に行動するなど、自己理解を深めていく活動が続きます。今回の「社会人講話」はその一助として大きな役割を果たしました。



<学校のホームページはこちらです> <https://koubunkan.myswan.ed.jp/>

## (8) 田尻さくら高校

### ＜田尻さくら高校の特色ある取組「さくらクエストデー」＞

8月30日（金）、本校はこの日を「さくらクエストデー」として設定し、各年次で進路活動を行いました。1年次（写真左）は、進学希望者と就職希望者に分かれ学校や企業の見学へ、2年次（写真中央）は大崎管内にある複数のものづくり企業をお招きしての説明会、3年次（写真右）は一般常識テストや模擬面接など各自の試験を見据えた対策を行いました。

進路が明確な生徒も漠然とした考えのままの生徒も、皆真剣な様子で話に耳を傾けていました。説明会を受けて2年次の生徒は、「まず色々なことを体験して自分の可能性を広げていくことが良い将来を築くきっかけになると思いました。」「職業について深く考えることができた。これから、どんなことが自分に向いているかしっかり考えていきたいと思う。」など前向きな感想を述べており、進路に対する意識づけとして有効な取組であったと思われます。



＜学校のホームページはこちらです＞ <https://tajiri-hs.myswan.ed.jp/>

## 3 学校紹介

### (1) 仙台向山高校 ＜第45回 向陵祭＞

去る8月30日（金）・8月31日（土）の両日、「青に飛び込め！～僕らの夏だ～」をテーマに、本校の文化祭である「向陵祭」が開かれました。

各団体の展示発表およびそれを紹介するPR動画、全体企画、文化部ステージ発表、バンド演奏、模擬店、バザーなど、盛りだくさんの企画が行われました。手作りのお化け屋敷や脱出ゲームなど各団体とも工夫を凝らしたもので、大いに盛り上がりました。また、一般公開である8月31日には、多くのお客様にご来場いただき誠にありがとうございました。

仙台向山高校では、この向陵祭を、企画から宣伝、運営、会計に至るまで、生徒の手によって行っています。その他、多くの行事で、生徒自らが手掛けるものとなっています。皆さんも、仙台向山高校で生き生きとした高校生活を送ってみませんか。



＜学校のホームページはこちらです＞ <https://mukaiyama.myswan.ed.jp/>

## (2) 仙台三桜高校 <三桜祭>

今年度も8月末に「三桜祭」が開催されました。

今年のテーマは「3年〇(オー)組 ～今から皆さんは三桜祭の主人公です～」でした。

初日は映像制作委員会によるオープニング動画を皮切りに、ギター部のノリノリのバンド演奏、書道部の力強いパフォーマンス、音楽部の皆さんは浴衣姿で普段とは違う雰囲気です。自慢のハーモニーを披露してくれました。最後は演劇部による公演が行われ三桜祭をおおいに盛り上げてくれました。

2日目の一般公開は体育館でのステージ発表の他、文化部が日頃の成果を発表する展示発表と3年生各クラスがこの日のために夏休みから準備した模擬店営業が行われました。

1500名を超える一般入場者を迎え、三桜高校の魅力を十分にアピールした一日となりました。

### <生徒の感想>

8月末、毎年恒例の行事である「三桜祭」が開催されました。

今年の三桜祭のテーマは、「3年〇(オー)組 ～今から皆さんは三桜祭の主人公です～」でした。当日はそのテーマの通り、三桜生も一般の方々もそれぞれが思い思いの場所と方法で主人公となって三桜祭を楽しんでいたと思います。

また、今年は実行委員企画として、「男装・女装コンテスト」を実施しました。今年初めての試みだったので、一から準備をすることはとても大変でした。でも、本番では各クラスの代表が質の高い男装や女装を繰り広げてくれたお陰で、生徒のみんなは大喜びでした。この様子を見て、新しい企画にチャレンジして頑張った甲斐があったと思いました。その他にも、参加団体がそれぞれ新しいアイデアを取り入れた展示や模擬店の運営をして例年より進化した三桜祭を作ることができたと思います。

令和元年度 三桜祭実行委員長 3年 舟山 琴葉

### <学校のホームページはこちらです>

<https://sen3o-h.myswan.ed.jp/>



### (3) 古川高校

#### ＜『総合的な探究の時間』1年生発表会 ～大崎に文化はあるか？～＞

本校1年生の『総合的な探究の時間』では、本年度前期の「大崎には文化があるか？チーム毎に探究せよ」というミッションを受け、言語・食品・工芸・観光・交通・建築・農業・地理・人間・芸能の計10班に分かれて探究活動を行いました。そして先月（9月5日）には、それぞれの班の代表者による発表会が行われました。家の模型を使っただの実験や、地域に根ざした芸能活動の映像など、興味深いプレゼンテーションが行われ、実際にこけし工房を訪れた工芸班の「大崎独自のこけしについて」が最優秀発表賞に選出されました。

この活動で得られた知見や探究手法を、後期から始まる「大崎創生☆未来への提言」プロジェクトにつなげていきたいと思えます。

＜学校のホームページはこちらです＞

<https://furuko.myswan.ed.jp/>



### (4) 迫桜高校 ＜産業社会と人間＞

「産業社会と人間」とは、総合学科に特有の、学校設定科目です。通称“産社”と言われ、1年次の前期に週4時間行われます。産社は、生徒それぞれが将来の夢の実現のために「今、必要な力をつける」ことを目標とした実践的な学習の時間です。『自分史作成』、『科目選択』、『職場体験学習』など実際に見たり聞いたり、友達と話し合ったりしながら自分自身の生き方を考え、自分の夢の実現のために何をすれば良いのか具体的な計画を立てます。計画を立てる中で迷いや悩みを抱えることもあるかもしれませんが、その迷いを自分の力で解決していくのが産社の特徴でもあります。

産社の最後には自分の夢の実現に向けた設計図を「ドリカムプラン」として仕上げます。

9月20日（金）に、そのまとめたプランの発表会が行われました。代表者の発表を真剣に聞き、メモを取りながら自分のプランの修正を行う姿を見ることができました。

（写真は、ドリカムプラン発表会の様子です。）

＜学校のホームページはこちらです＞

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>





## (5) 第二工業高校 <電気科特別編入制度について>

本校電気科は電気主任技術者の認定校になっており、電気科卒業後、所要の実務経験により第三種電気主任技術者（いわゆる電験三種）の資格を取得できます。

その中で、本校には「電気科特別編入制度」があり、電気科以外の高校を卒業した方が電気科3年に編入し、電気主任技術者や電気工事士などの資格取得を目指します。編入学の理由は、家業を継ぐため資格が必要になったためであったり、会社の仕事で必要になり再度知識や技能を習得しなければならなくなったためなど様々です。一般の生徒たちと一緒に受ける授業や実習もあり、目標に向かって熱心に勉学に励む姿は一般生徒の良き手本になっています。

特別編入試験は毎年3月に実施しますが、資格審査が必要なため2月中旬までの問い合わせが必要です。詳細は学校ホームページをご覧ください。

<学校のホームページはこちらです> <https://m2k.myswan.ed.jp/>



## 4 コラム

### (1) 白石工業高校

#### <白石工業高校（白工）に入学するとこんな良いことがありますよ！>

##### 第1位 憧れの企業に就職できる！

白工生の10人中7人は、卒業後すぐに就職します。就職先の中には、大学生でも就職するのが難しい企業や、海外で活躍できる企業があります。多くの企業はいま、工業高校生を求めています。3年間勉強と部活を頑張っ、周りもビックリする企業に高い志を持って就職してみませんか？もちろん進学指導も手厚く、ここ数年の進路決定率は100%です。

##### 第2位 新しい部活にチャレンジできる！

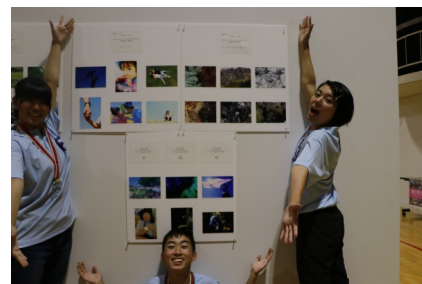
最近流行のラグビー部を始め、全国大会常連の男子ソフトボール部や軽音楽部、世界大会優勝経験のある写真部など、他の高校にはないような部活がたくさんあります。もちろん他の部活動も活躍しています。

##### 第3位 新しい仲間と新鮮な授業！

白工には40以上の中学校から生徒が集まってきます。また、工業実習や課題研究など、実際にものづくりに関わる授業がたくさんあります。新しい友人と共に新しい授業を受け、他校とはひと味違った高校生活を送ってみませんか？

少しでも興味を持った人は、是非とも白工へ足を運んでください。お待ちしております！

<学校のホームページはこちらです> <https://shiroishi-kougyou.myswan.ed.jp/>



写真部世界大会



今話題のラグビー

## (2) 村田高校

### ＜村高3年次生 第一希望の進路達成に好発進！＞

### ～質の高い進路達成100パーセントを目指して～＞

現在、村田高校の3年次生は、それぞれの進路希望の達成に向けて、一生懸命に取り組んでいます。約半数を占める民間就職希望者は、次々に採用試験に挑んでおり、企業から内定をいただいた生徒が続々と出始めてきています。

公務員希望者も、役場職員や自衛官などを目標として勉強を続けてきており、先日一次試験に臨みました。まだ結果は明らかになっていませんが、よい結果となることを期待しています。

大学・短大・専門学校への進学希望者は、多くの生徒がAO入試や推薦入試を利用するため、勉強だけでなく小論文や面接の練習などにも必死で取り組んでいます。

基礎学力やコミュニケーション能力など、3年間で身に付けた力を発揮し、大きな夢への第一歩を踏み出そうとしています。

“村田高校は、「未来を拓く、選択肢が広がる」単位制・総合学科の高校です”



＜学校のホームページはこちらです＞ <https://murata-h.myswan.ed.jp/>

## (3) 志津川高校 <志津川高校 町の福興市への参加>

志津川高等学校は、宮城県の沿岸部南三陸町にあります。東日本大震災で大きな被害を受けた南三陸町は、町の復興を願って毎月最終日曜日に「福興市」という商業イベントを行っています。志津川高等学校も5年前からほぼ毎月このイベントに参加しています。商業部の生徒は町の特産品を使った調理品を模擬店等で販売、音楽部・軽音楽部は生演奏の披露、自然科学部では子ども向け体験ブースを設けて来客されたみなさんに楽しんでもらえる取組をしています。10月27日に行われる福興市では「南三陸タコシチュー」を調理販売する予定です。南三陸のタコはアワビやウニを食べて育った「セブなタコ」として人気が高く、歯ごたえも味も自慢の逸品です。町の方たちと一緒に製成品を考えたり販売活動をする事で、生徒は自分の将来と町の未来について考えるとても貴重な勉強ができているように思います。南三陸町の福興市は来年4月で開催100回目を迎えます。その記念開催まで町の方たちと一緒にイベントを盛り上げられるよう頑張っていきたいです。南三陸町の福興市にてたくさんのご来町お待ちしております！



＜学校のホームページはこちらです＞ <https://sizugawa-hs.myswan.ed.jp/>